

令和2年度 指定管理者運営評価シート

所管課	文化振興課
-----	-------

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市民会館
所在地	西宮市六湛寺町10番11号
施設概要	アミティホール(1,500人収容)、大会議室101(226人収容)、中会議室401(100人収容)、中会議室301(70人収容)、小会議室402(30人収容)、小会議室403(30人収容)、小会議室302(30人収容)、小会議室303(30人収容)、中会議室501(50人収容)、中会議室502(40人収容)、小会議室601(24人収容)、小会議室602(24人収容)、中会議室503(60人収容)、ギャラリー(54㎡)
施設の設置目的	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与する。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	公益財団法人西宮市文化振興財団	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日
	所在地	西宮市六湛寺町10番11号 西宮市民会館内		終了日	令和 3 年 3 月 31 日
選定方法		非公募	評価対象年	指定期間 5 年のうち 4 年目	

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	常時1名以上の職員で、ホールの受付、収納、管理、利用促進業務等の管理運営業務を実施した。設備管理、清掃、舞台操作、案内、警備業務などを外部に委託し、設備機器等の法令点検や定期点検等を実施した。
②施設の事業・運営関係	西宮市民会館は、貸館としてアミティホール、会議室12室、ギャラリーを設置している。令和元年度には、アミティホールは213日開館し、利用日数は180日であった。会議室は延3,461日開館し、利用日数は3,028日であった。ギャラリーは286日開館し、利用日数は136日であった。(天井耐震化工事によりホールは令和元年4月1日から6月28日まで、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月3日から3月31日まで休館) アミティホールは12ヶ月前の月の1日から、会議室・ギャラリーは6ヶ月前の月の1日から申込みを受け付けており、公平な利用を確保するために各月申込み初日に抽選を実施している。 なお平成28年度より、西宮市吹奏楽団並びに西宮少年合唱団が西宮市民会館を練習拠点としている。 また、指定管理者の自主事業として令和元年度は「アートforキッズ 音楽の絵本」等9件を実施した。 労働実態調査の結果： 事業計画書に基づき、適切に実施されていることを確認した。 調査結果後の指示事項： 特になし。
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	当初及び指定期間中の提案： ホール利用者及び入場者へのアンケート調査や施設内に利用者の声BOXを配置することで、ニーズや趣向を常に把握し、設備を更新、改善(市への提案、協議も含め)していく。特徴的かつ創造的な芸術文化事業の実施に努めるとともに、効率的な仕様への見直しや施設・設備の更新を市に提案することで、稼働率の向上、ならびに利用者の満足度を高める。 取組結果： 楽屋トイレの洋式化など、改修を順次進めている。令和元年度は、ほぼすべての会議室の窓にカーテンを設置し、断熱効果を高めることができた。また、ホールピアノ庫において空調機器を設置し、ピアノにとって最適な状態を維持することに努めた。 今後の改善点： ホール利用者及び入場者にアンケート調査を実施し、引き続き利用者のニーズの把握に努めるとともに、その結果報告に基づき改善につなげていく。

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(計画)
① ホール稼働率	%	69.0	63.3	67.6	66.6	70.0
② 会議室稼働率	%	63.3	64.8	61.7	61.5	70.0
③ ギャラリー稼働率	%	38.2	45.3	53.1	47.6	70.0
④ ホール利用件数	件	602	556	452	413	501
⑤ 会議室利用件数	件	6,985	7,126	6,775	6,350	5,936

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	施設の使用申請手続きの際の面談で使用者の意見・要望を聴取することに加え、基本協定に基づき、年度終了後に指定管理者から施設の利用状況(利用率、目的別・使用団体別利用状況)等を含む事業報告書の提出を受けている。 年間を通じて市と緊密な連携を取り、利用者から施設利用に対する意見・苦情等が寄せられた場合に、随時報告を受け対応している。また、利用者からのニーズをできるだけ的確に捉えるため、アンケートによる利用満足度の調査、要望の把握に努めている。
②利用者アンケート等の結果	アンケートではスタッフの対応やホール設備について全体的に高い評価を受けている。しかし、開館以降53年が経過し、経年劣化している備品関係の改善要望が出てきている。
③結果からの改善点など	防犯カメラの設置など、改善提案がなされている。 その他修繕や機材の更新についても、市と随時調整を行っている。

5. 指定管理者の安定性や継続性の評価

①評価結果	指定管理者は、自主事業として市民参画を得て、市民主体の文化事業等を、また市からの受託事業として市展、芸術祭等を実施しており、市民主体の文化振興を目指す「西宮市文化振興ビジョン」の推進に大きく寄与している。経営の健全性においても、正味財産比率は令和元年度決算で92%を確保、また借入金依存率は0%であり、概ね健全であると評価している。
②評価結果を受けての指示事項	今後も、計画的な施設修繕を実施するとともに、市民主体の文化事業の実施や令和元年度中に改修を行ったホームページ等の広報媒体を活用した、更なる市民サービスの向上を図ること。

6. 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)
指定管理料	113,592	114,909	113,510	116,911	116,964
うち光熱水費	(21,801)	(22,759)	(22,405)	(23,522)	(23,592)
うち修繕料	(12,849)	(11,032)	(9,231)	(9,372)	(8,400)
補足説明	「うち数」の合計は、指定管理料と同じにはならない。				

7. 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(予算)
使用料	64,355	61,290	52,662	46,115	63,076
光熱水費等使用者負担金収入	789	800	789	768	788
その他の収入	1,301	1,266	1,183	1,135	1,313
合計	66,445	63,356	54,634	48,018	65,177
補足説明	「その他の収入」には、主に行政財産目的外使用料(自動販売機設置手数料)を記入している。 千円未満は、四捨五入しているため、合計額が合わないときがある。				

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	仕様書等に記された業務内容については、事業報告や随時のモニタリングにより、適正に実施されていることが確認できた。 また、アンケートを含めた利用者からの意見・要望については、随時市との情報共有を行い、満足度の向上に努めている。 施設の老朽化が進んでおり、限られた修繕費の多くを補修費に費やさざるを得ない中ではあるが、利用者の利便性向上のための施設改修にも努めている。
②指摘事項	今後も市民が利用しやすい環境を形成していくため、実現可能な施設改修等の提案を求める。 また、平日の空き区分の有効活用策について検討するとともに、積極的なPRを行い、新規利用者の獲得に努めること。